

**演題番号：**P-089

**演題名：**外来慢性腎臓病患者における血清カリウム値適正化に向けた栄養指導の有用性—保険薬局を主とした多施設共同前向きコホート研究—

**発表者：**○朝居 祐貴<sup>1,2</sup> [三重県]、村松 麻美<sup>3</sup>、小林 竜也<sup>4</sup>、高崎 郁宏<sup>5</sup>、村阪 敏規<sup>6</sup>、伊豆川 愛<sup>7</sup>、宮田 香織<sup>8</sup>、岡崎 貴大<sup>9</sup>、高井 靖<sup>10</sup>、岩本 卓也<sup>1</sup>

**所属：**1 三重大学医学部附属病院 薬剤部、2 国立病院機構三重中央医療センター 薬剤部、3 国立病院機構三重中央医療センター 栄養管理室、4 三重県薬剤師会 会営久居調剤薬局、5 久居センター薬局、6 こうなん薬局、7 薬局アイファーマシー—明神店、8 スギ薬局 久居インターガーデン店、9 国立病院機構三重中央医療センター 循環器内科、10 三重ハートセンター 薬局

**抄録：**

#### 【目的】

外来通院中の慢性腎臓病（CKD）患者は、高カリウム血症の発現率が高いことから、自宅にて適切なカリウム摂取制限を行うことが重要である。そのため、薬局薬剤師がカリウム制限食への栄養指導を行うことは、外来 CKD 患者の血清カリウム値の適正化へ貢献できる可能性がある。そこで本研究では、病院と保険薬局との連携によるカリウム制限食に関する栄養指導プロトコルを運用することで、外来 CKD 患者の血清カリウム値へ及ぼす影響を明らかにすることを目的とした。

#### 【方法】

対象は、推定糸球体ろ過量（eGFR）45mL/min/1.73m<sup>2</sup>未満の外来 CKD 患者とした。本プロトコルでは、保険薬局にて従来の服薬指導に加え、カリウム制限食に関する指導書を用いた栄養指導を行うこととし、三重中央医療センターと近隣の保険薬局 5 施設にて実施した。主要評価項目は血清カリウム値、副次評価項目はアンケート調査によるカリウム制限食に関する患者の知識および意識の変容とした。アンケート調査では、CKD における高カリウム血症の病識、カリウム制限食への意識に関する設問に対し、5 段階で評価した。観察期間は介入開始日から 12 週後とした。

#### 【結果】

25 名の外来 CKD 患者が登録された。血清カリウム値は、介入前の 4.7mEq/L から介入後にて 4.4mEq/L へ有意に低下した（ $p < 0.001$ ）。一方、介入前後での eGFR（ $p = 0.563$ ）および脱水の指標である尿素窒素/血清クレアチニン比（ $p = 0.904$ ）には変動が認められなかった。また、観察期間においてカリウム補充を要する低カリウム血症は認められなかった。アンケート調査の結果、本プロトコルの運用により CKD 患者における高カリウム血症の病識は有意に向上し、自宅でのカリウム制限食への意識についても肯定的な意見の割合が増加した（ $p < 0.001$ ）。

#### 【考察】

観察期間において腎機能や脱水状態に影響されることなく、血清カリウム値が低下した。この血清カリウム値の低下には、外来 CKD 患者の病識およびカリウム制限食への意識変容が寄与したと示唆された。また、低カリウム血症も認められなかったことから、本プロトコルを用いることにより外来 CKD 患者に対する血清カリウム値の適正化に対して有効かつ安全性の高い栄養指導が可能となり、社会への波及性も期待できると考えられた。

#### 【キーワード】

慢性腎臓病、高カリウム血症、栄養指導、多施設共同前向きコホート研究